

連載第6回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに

横浜市会第4回定例会 一般質問に臨む

議会活動報告

12月9日の本
会議にて公明党
横浜市議員団
を代表して、自
身初めての一般
質問に立たせて
頂きました。皆
さまから伺って
きた地元・金沢
区の地域課題か
ら、高齢者福祉
子育て・若者支
援など8項目32
問に渡り林市長
および岡田教育
長へ質問をいまし
た。以下、抜粋してご
報告します。

○海の観光資源の活用を
南部市場跡地の再整備を契機として、周辺

のベイサイドマリーナや、八景島など観光・集客施設同士の連携を

図り、臨海部の周遊を促すことで、「横浜の海の観光資源」として

の更なる活性化を図るよう提案。市長より事

業者の皆さまと連携し、情報発信や旅行商品造成など、効果的な取組を進めるといふ答弁がありました。

○二層敷問題

問題解決の前進へ、条例化の必要性を改めて訴え、市長より来年度中の条例案提出と施行を目指すとの答弁がありました。

○近居・同居支援
介護や子育てなどを助け合いながら、安心して暮らすためにも、多世代の家族が近居・同居しやすくなるよう支援を充実させるよう要望。市長より子育て環境の形成、女性の就業支援にもつながる大変重要なものである

の答弁がありました。
○市立山王台小学校でのシャッター事故を受けて
原因究明と再発防止に直ちに取り組みよう要望。教育長より全学校のシャッターのワイヤ交換を直ちに行い、既に順次行っている危害防止装置の設置作業を前倒して行うとの答弁がありました。

○夜間中学、フリースクール、就労支援
国の通達を踏まえ、夜間中学の再入学について、しっかりと周知していくこと。不登校児童生徒の増加傾向を踏まえて、フリースクール等の多様な学びの場を公的に位置づけて支援していくこと。引きこもりなどで支援につながっていない若者を、行政の側から積極的に把握して支援につなげるきめ細やかな取組を行うことなどを要望。市長、教育長より、若者が社会に踏み出す第一歩を地域で支える取組を、さらに推進していく旨の答弁がありました。今回の質問の詳細は、市会ホームページのインターネット中継でもご覧になれます。



横浜市議員 たけのうち猛

〈プロフィール〉

昭和49年、大分県大分市生まれ。米国・ワイオミング大学大学院・公共政策学修士課程終了。金沢区在住。平成27年4月、横浜市議員に初当選。公明党公認。建築・都市整備・道路委員会。減災対策推進特別委員会。

〈ご相談・ご連絡先〉

公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西3-38-1-101
TEL：080-9804-9782
FAX：045-345-4345
info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

http://gikaichukai.city.yokohama.lg.jp/